

レスパイト入院 を活用してみませんか？

レスパイト入院って？

入院治療の必要がなく在宅療養されている方でも、一時的に入院していただける短期入院のことです。介護する側・介護を受ける側、双方のストレス軽減を目的としています。

かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問看護からのご相談も患者サポートセンターでお受けします！

こんな時、お気軽にご利用ください

- ◆ ご家族の休息
- ◆ 旅行・出張
- ◆ 冠婚葬祭
- ◆ 急病・入院
- ◆ 出産 など

入院の対象となる方

1. 退院先がご自宅の患者さん
2. 褥瘡処置、たん吸引、麻薬の管理、がんの疼痛管理、胃瘻、経鼻での栄養管理、気管切開、在宅酸素などの医療管理が必要なため、介護保険によるショートステイの利用が困難な方

醍醐さくらの会 がん患者サロン

がん患者サロンとは？

がん患者さんやそのご家族、医療スタッフの交流の場で、語り合いやふれあいを通して、悩みの解決や気分転換などにご利用いただけます。

ご家族だけでの参加、当院を受診されていない方の参加も可能です。



今後の開催予定

- ◆ 毎月第2金曜日
10:00～12:00、昼休憩、13:00～15:00
- ◆ 2024年1月12日(金) かるた会
2月9日(金) バレンタインコンサート
3月8日(金) もしばなゲーム

レスパイト入院・がん患者サロンのご相談は

患者サポートセンター

TEL. **075-572-6530** (直通)

※レスパイト入院は、申込み前にかかりつけ医の診療情報提供書をFAXしていただく必要があります。

医仁会武田総合病院

患者サポートセンターだより

2023年12月号



特集 救急医療センター

医仁会武田総合病院 患者サポートセンター

☎ 0120-72-6530

☎ 075-572-6530 (直通)

☎ 075-572-6276 (直通)

受付時間：月～金曜日 午前 8:30～午後 19:00
土曜日 午前 8:30～午後 17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。
※時間外は医事部にて対応いたします ▶ ☎ 075-572-6331 (代表)



医仁会
武田総合病院



患者サポート
センター



理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

新たな時代に求められる
地域の救急体制構築へ

救急医療センター特集



当センターは、救急車で搬送される重篤疾患の初期診療を行う初期・二次救急医療機関です。専任の救急医が、搬送された患者さんの初期診療に当たります。ただし、小児科、産婦人科などは各科専門医が診療します。入院治療や手術など根本治療は、院内各科専門医に引き継ぎ診療を継続します。

診療体制



当センターには4名の救急専従医、2名の研修医、集中治療室兼任の看護体制の他に10名の救急救命士が在籍しています。4名の救急医は、脳神経外科医、心臓血管外科医、消化器外科医、外傷外科医からなる外科医集団で、いずれも30年から50年の経験を有するベテランです。救急一般は勿論のこと、とくに神経救急、心疾患救急、外科救急、外傷・熱傷・中毒などで専門性を発揮しています。

2023年9月に杉江亮新センター長が就任し、さらなる体制強化を進めています。一例ですが、医師や看護師のタスクシェアリングで大きく貢献する救急救命士について、今後は搬送途上での患者観察にも活躍の場を拓ける予定であるなど、幅広い取り組みを行っています。

2022年度 診療実績



新型コロナの大流行期には種々の要因で救急応需に制約が発生したため、昨年の実績はコロナ前より大きく減少し、救急車搬入3726件、内訳は内因性2575例、外因性1151例。入院は1676例、集中治療室収容患者は255例でした。救急搬送ではない時間外患者数は7324件で、これらは各科当直医が診療しております。

全てを受け入れる医療体制の構築

地域に根ざした救急医療を行うためには、断らない救急を実践することが重要で、現状では脆弱な夜間の救急体制の強化を図りたいと考えています。とくに地域の医療機関・消防機関との連携は重要です。

地域消防との勉強会の再開や消防学校への教員の派遣、実習生の受入を積極的に進めるなど、ウィズコロナ時代に適した新たな救急体制の構築に邁進していきます。